【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和3年11月11日(2021.11.11)

【公開番号】特開2020-54686(P2020-54686A)
【公開日】令和2年4月9日(2020.4.9)
【年通号数】公開・登録公報2020-014
【出願番号】特願2018-188193(P2018-188193)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０
Ａ６３Ｆ　7/02　３３３Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和3年9月28日(2021.9.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定の入球口への入球に基づいて、当たりとなるか否かの判定処理を行う遊技制御手段と、
所定の表示手段と、
前記表示手段に所定の表示を実行可能な演出制御手段と、を備えた遊技機において、
前記遊技制御手段は、
前記判定処理にて当たりと判定すると、特別遊技を実行可能とし、
前記演出制御手段は、
前記特別遊技の実行中に、前記遊技機の性能に関する情報を示唆する特定表示を実行可能であることを特徴とする遊技機。
【請求項２】
請求項１に記載する遊技機において、
前記特定表示は、前記判定処理にて当たりと判定される確率に関する情報を示唆する表示であることを特徴とする遊技機。
【請求項３】
請求項１または請求項２に記載する遊技機において、
前記特定表示は、前記特別遊技にて獲得可能な賞球数に関する情報を示唆する表示であることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明の遊技機は、
所定の入球口への入球に基づいて、当たりとなるか否かの判定処理を行う遊技制御手段と、
所定の表示手段と、

前記表示手段に所定の表示を実行可能な演出制御手段と、を備えた遊技機において、
前記遊技制御手段は、
前記判定処理にて当たりと判定すると、特別遊技を実行可能とし、
前記演出制御手段は、
前記特別遊技の実行中に、前記遊技機の性能に関する情報を示唆する特定表示を実行可能であることを特徴とする遊技機である。